

# EDGE CUSTOMS Challenger S

feat.

# WORK EMOTION CR 3P

Hole/P.C.D : 5/115  
Sizes: Front | 20x9.5 Rear | 20x11

問い合わせ：株式会社ワーク  
東日本コールセンター Tel.048-688-7555  
西日本コールセンター Tel.06-6746-2859  
中日本コールセンター Tel.052-777-4512  
www.work-wheels.co.jp

取材協力：LUXZ Tel.0120-694-206 luxz.jp  
Photo：浅井岳男 Takeo Asai Text：空野 稔 Ryo Sorano



伝統ある日本家屋にも  
負けない存在感  
LUXZではさまざまなカス  
タムスタイルを提案するが、  
なかでもアグレッシブな  
オーバーフェンダーなどを  
装着するのが、今回の撮影  
車両「チャレンジャーS」だ。



## WORK EMOTION CR 3P

構造 スリーピース  
Inch 21SR/20/20SR/19/19SR/18  
Rim FULL REVERSE/STEP RIM  
COP リムアレンジ/セミオーダーカラー/特殊P.C.D.  
その他 TPMS 対応/カラリズム/アステリズム/キャンディカラー/  
リムレーザータトゥーカスタム

カスタム・チャレンジャーの第一人者  
島澤典詳、ワークホイールを語る

超精密3ピースだから実現できた  
ぎりぎりぎりのセットアップ。

2006年のデトロイトショーで復活が発表されたチャレンジャー。  
そのレポートを本誌で知り、チャレンジャーの虜となったLUXZ代表・島澤典詳氏。  
いまや日本のカスタムファンの間で彼の作品を知らぬ者は皆無だが、  
その世界観に欠かせないピースこそが、WORK「CR 3P」なのである。

## LUXZ C.E.O. / EDGE CUSTOMS Producer 島澤典詳

人と同じスタイルはやりた  
くないし、「賛否が分かれ  
るカスタムを創り続けたい」と語る島澤典詳氏。ある意味、現代の傾奇者と呼  
ぶべきかも知れない。





# 04

## SPOKE

伝統と言える 10 スポークデザインを踏襲

20 年以上に渡り進化し続ける CR シリーズ。そのスタイルを守りつつ、常に最新の技術を投入し進化を続ける。なお、チャレンジャーのような特殊サイズの P.C.D. にも対応可能だ。



ブラック  
ブラックアルマイトリム  
チタンコートピアスポルト  
オプションセンターキャップ  
フラットタイプブラック



パーニングシルバー  
ブロンズアルマイトリム  
オプションセンターキャップ  
フラットタイプシルバー



マットカーボン  
ブロンズアルマイトリム  
ゴールドピアスポルト  
ゴールドエアバルブ



ブラック



パーニングシルバー

これが CR 3P のスタンダード

ワークエモーション CR 3P の標準ディスクカラーはパーニングシルバー、マットカーボン、ブラックの3色。そして形状はセミコンケイブ、ディープコンケイブのという2タイプが用意されている。



マットカーボン

## COLOR VARIATION

自分だけの唯一無二の組み合わせが可能

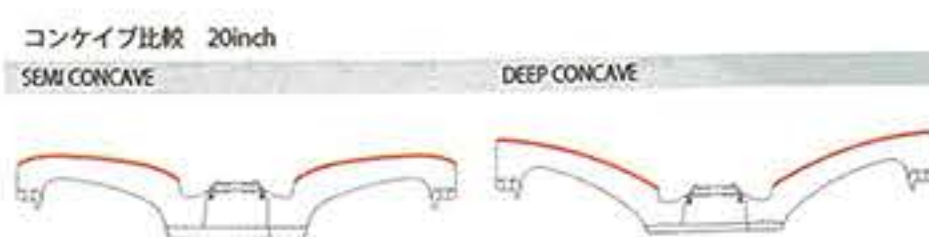
3 ピースホイールを構成する各パーツの色は自由に組み合わせ可能。カラリズムやアステリズム、キャンディカラーなどの特殊ペイントにも対応。またレーザータトゥーも施工可能。

# 06

## CONCAVE

デザイン性だけでなく強度面でも極めて有効

リムのエンドからハブに向かって落ち込むコンケイブデザイン。見た目のためだけでなく、実はこの形状とすることによって強度をアップさせている。



アウターリムもお好みで！

アウターリムは標準（バフアルマイト）以外に5パターンからチョイス可能。印象を大きく変える特殊アルマイト加工によるフィニッシュで自分だけの1本に。

高い強度の織細スポーク

島澤さんがホレ込んだのがこのスポーク部。正面から見ると織細な2×5スポークだが、この角度から見るとしっかり逞しい肉厚さを誇っているのがわかる。

# 05

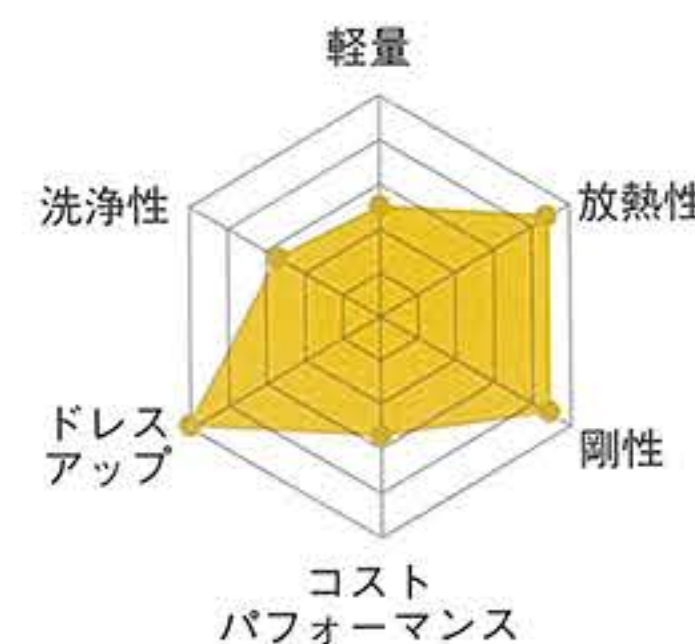
ほどまでにアグレッシブなスタイルに似合うホイールはそうはない。だが島澤氏はスタイルと異なる理由でも WORK を推す。「確かにアメリカンブランドは非常に斬新なスタイルが魅力です。でも正規品でなければ保証など期待できません。カッコ良いという理由だけでユーザーに提案することとは不誠実ですからね。その点 WORK なら高い耐久性や信頼性は折り紙付きです。お客様に安心して乗っていただくためにも、CR 3P 以外の選択肢は考えにくいですが、もちろんマルチピースによるインセットの自由度は非常に魅力的です。リム/ディスク/ピアスポルトのカラーも自由に組み合わせられるので、お客様に最適な

スタイルを提案できます。明るい色を選べばホイールが主役となりますが、落ち着いた色を選べば黒子に徹してくれますからね」CR 3P の特性を熟知し、その魅力を最大限に引き出す島澤氏だが、最後に WORK に対する要望や期待を聞いてみた。「個人的には、もう1モデル違うデザインがあると嬉しいですね。それが鍛造なら文句なしですよ。カスタムを探究し続ける我々は新しい物を欲していますし、その渴きを潤してくれるアイテムを期待したいですね」島澤氏から投げられたボールを、WORK はどのように投げ返すのか。これからの両者のキャッチボールに注目していきたい。



## IDENTITY

細いスポークが軽快さを与えるが強度も重視



2016 年の SEMA ショーでワールドプレミアを飾った、WORK EMOTION ブランド初の3ピースホイール『CR 3P』。ベースデザインは全日本 GT 選手権に投入された鍛造マグネシウムホイールで、それを市販化した CR から継承し続ける 10 スポークデザインは、強靱でありながら美しさも共存する。



# 02

## FLAT RIM

ワイドボディを際立たせるワイド&フラットナリム

大口径ホイールの場合、強度を確保するために段リムを採用するモデルは珍しくない。だがフラットリムでなければ表現できない美しさがあり、CR 3P はそれを実現している。



## DEEP RIM

ディスクが見えないほどのリムの深さは圧巻！

最大でインセット-93 という、途方もない深リムまで設定される CR 3P。ノーマルフェンダー用のサイズも設定されるが、CR 3P はハードなカスタムにこそ似合うと言えるだろう。

# 03

LUXZ の世界観を具現化する WORK のマルチピース

今年で創業20周年を迎えた LUXZ。日本のチャレンジャーカスタムの第一人者として活躍する島澤氏が創り出してきた「EDGE CUSTOMS」の足もとには、『WORK EMOTION CR 3P』が数多くセットされている。アメ車USAブランドでカスタムするのが一般的だが、なぜ島澤氏は WORK を選ぶのか、お話を伺ってみた。



でも装着していません。でも LUXZ のデモカーにインストールした瞬間、とんでもなくカッコ良かったんです！「一番魅力を感じたのはフラットリムの深リムで、ここまで EDGE CUSTOMS に似合うホイールはないと直感しましたね」と、当時は振り返る。ノーマルを遥かに凌ぐグラマラスなボディラインは EDGE CUSTOMS の真骨頂だが、これ